

日野まちづくりマスタープラン改訂に向けた 地域別意見交換会 【第1回 結果概要】

1 日程・会場

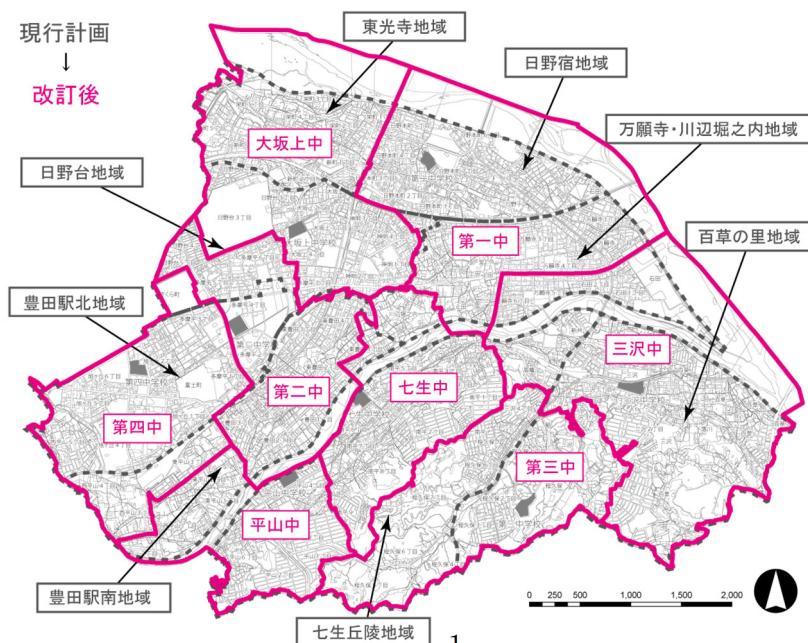
日程		会場	対象地域	参加者
6/17 (土)	10～12 時	市役所 1 階 101 会議室	1. 大坂上中学校区	①班 3 名・②班 2 名
			2. 第一中学校区	-
	14～16 時	//	3. 第二中学校区	-
			4. 第四中学校区	③班 2 名
6/18 (日)	10～12 時	平山小学校 ランチルーム	5. 七生中学校区	①班 2 名
			6. 平山中学校区	③班 3 名・④班 2 名
	14～16 時	三沢中学校 食堂	7. 三沢中学校区	①班 4 名・②班 4 名
			8. 第三中学校区	-

計 22 名

2 検討内容

時間	ワーキング内容
10 分	①自己紹介
20 分	②まちの皆さんの居場所探し ○年代（子ども、子育て世代、高齢者）別の居場所での活動内容を、確認する ○「場所はあるけど、使われていない」または「特定の世代や活動にしか使われていない」場所を確認する
15 分	③地域の足りないところ探し ○「こういう活動をしたいけれど、場所がない（地区外にはある）」 ○「今後、必要となりそうな活動、場所」
15 分	④暮らし方の目標を確認する ○現行の地域別構想に示された「暮らし方の目標」について意見交換

3 対象地域



大坂上中学校地域【①班】

- 各世代とも主に中央公園と地区センター
- 高齢者の活動はお花見、夏祭り、運動会など。中学生の参加が少ないのが残念。
- 高齢者は元気に長生きすることが大切。地域活動の強化が必要
- 日野駅を拠点にできるか。窪地で坂道でのアクセスがネック。
- 情報化社会は人間関係が希薄に。だからこそ自治会が大切。
- これからは知と和の時代。コミュニティの存続を真剣に考える時。

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない	○地域の中学生在が集ま って過ごせる場所 ○自治会の地域活動に 地元の中学生に参加 してもらおう(体験、経 験)		○テニスコートがない
■今後、必要となりそ うな活動や場所	○過保護すぎず、いろん な体験ができる環境 づくり ○中学生が地域と触れ 合える場所 ○玄関になっているか		○生きがいとなる活動ができ る場所 ○頭と体を動かして介護予防 ができる場所 ○健康に過ごせるように、施 設を整備
■その他のご意見	○世代間の交流 ○夜祭や夏祭り、運動会などのイベントを、中学生と一緒にやる		
■暮らしの目標 『日野の玄関のあるま ち』	○歩行者、自転車、自動車が分離 ○カーシェアリングなど、時代の変化に対応 ○テクノロジーが進む中で、人々の繋がりが大事になってくるため、自治会活動な ど地域のコミュニティを維持 ○自治会を地域のガバナンスの中心に ○自治会の持続性を保つ		
⇒玄関になっているか？	1. 身近な自然を楽しみ、親しめる暮らし		
	2. 農業者の誇りと自然の恵みを感じ、農地・用水をみんなで守り育てる暮らし		
	3. いつでも人にふれあえる「出会いと交流」のある暮らし ⇒世代間の交流が必要		
	4. 近所の人たちと立ち話ができるような住環境の整った暮らし		
	5. 自然に人が集まってくる場所のある暮らし		
	6. 誰もが安心して住み続けられ、いきいきと活動できる暮らし ⇒地形により、買い物など生活が大変(日野駅西口をつくるなど必要)		
	7. いつでも先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らし		

※現行計画の東光寺地域、日野台地域の暮
らし方の目標をまとめたものです。

大坂上中学校地域【②班】

- 花見の場所など、自然に関する場所は3世代共通の居場所
- この辺りは商業施設もない住宅地で、集まる場所が少ない。
- ゆとりをもって過ごせる喫茶店など、商業施設が近くにない。
- このまま住宅地でよしとするか、それとも変えていくのか。マスタープランでどういう方針を立てるのかを聞きたい
- 就職となると市外で出てしまう。市内に働く場所がほしい
- 若い世代はデートする場所がほしい

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない	○子どもが遊び回れる 場所は、日野中央公園 しかない。 ○公園等でのボール遊 びを緩和できないか。	○小さな地区センターは 使いづらい（自治会管 理なので） ○生活の楽しさを創り出 すような施設。	
■今後、必要となりそ うな活動や場所	○プレイパーク的な施 設。 ○公園で子どもが遊ぶ ことは少ないのでは ないか	○駅前に気軽に寄れる 喫茶店やファストフ ード店 ○井の頭公園のような 場所 ○日野駅に行きづらい なので南口を。	○民間で高齢者が集ま れるような施設 ○用水を綺麗に整備し、 ゆっくり回遊できる ように（東光寺公園の 南側を多摩川へと上 がり易く） ○リタイア後にお店を 始められるようにな ればいい
■その他のご意見	○商業をやる人は、日野駅周辺は地形的に欠点がある（くぼ地）と見ているらしい。 ○日野自動車の跡地利用について、用途地域の指定をどうするのか考えを聞きたい。 ○日野自動車の後継施設も、働く場であってほしい。 ○公園を草刈し、もう少し見た目を安全、奇麗に。 ○八王子の陶芸の先生が日野で教室ができる空家を探している。しかし市は個人の利益のために空家斡旋はしないとの考えのようだ。 ○多摩川の「コンティ」は会議室やジム等があり良い施設だったが、4月末に閉店してしまった。		
■暮らしの目標 『日野の玄関のあるま ち』 ⇒具体的なフレーズや目 標像があると良い。 ※現行計画の東光寺地域、日野台地域の暮 らし方の目標をまとめたものです。	1.身近かな自然を楽しみ、親しめる暮らし		
	2.農地の誇りと自然の恵みを感じ、農地・用水をみんなで守り育てる暮らし		
	3.いつでも人にふれあえる「出会いと交流」のある暮らし		
	4.近所の人たちと立ち話できるような住環境の整った暮らし		
	5.自然に人が集まってくる場所のある暮らし		
	6.誰もが安心して住み続けられ、いきいきと活動できる暮らし		
	7.いつでも先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らし		

第四中学校地域【③班】

- 都心から子育て世代が移り住んでくるようにしたい。
- 住宅としての価値を高めたい。
- 小学校周辺の歩道や交差点を安全にしたい。
- 視覚障がい者の方が安心して通行できるように。点字ブロックがない道路がある。
- 街路樹をメンテナンスして子どもが安全に通行できる道にする。
- 西平山の方は高齢者にとって不便。コンビニや医療施設がない
- ミニバスの本数が少ない。今後は公共交通よりもオンデマンドのサービスが必要。
- 医療施設を増やし高齢者や障がい者が住みやすい地域にしたい。

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない			○医療施設がない ○医療施設のチベット ○ベンチなど少し休憩できる場所が少ない
	○視覚障がい者の方も安心して通行できる道が少ない ○西平山4・5丁目にはコンビニがない		
■今後、必要となりそ うな活動や場所	○小学校周辺の狭い歩道や事故の多い交差点の改善	○子育て世代が移り住んでくる ○都心の密集を解決するために日野に住宅を増やす	○呼んだら来てくれる交通サービス（オンデマンド） ○認知症を見守る地域活動
	○豊かな自然のPR ○庭木の繁茂の管理、手入れ ○幼稚園・学校の桜の木や街路樹（老木・巨木）の管理 ○視覚障がい者の方が暮らせる→安全性を高める ○安心して子育てができる環境づくり ○地域全体を30km/h以下ゾーンにしたい ○学校や企業の清掃活動		
■その他のご意見	○視覚障がい者の方が安心して通行できる道が少ない ○あまり利用されていない公園（坂道、線路脇、段差による使い勝手） ○西平山4・5丁目は校区内に住んでいてもあまり行かない。 ○企業の敷地内のコンビニは地域住民が使えない。 ○地域全体を時速30km以下ゾーンにしたい。 ○企業・学校による清掃活動 ○豊かな自然をPR ○首都大などの学生が地域の活動に参加する仕掛けができないか。		
■暮らしの目標 『高幡不動と里山が息 づくまち』	1. 多様な形でまちの中の緑に関わりながら豊かな自然を育み楽しむ暮らし 2. 農地や農作業の風景を身近に感じて環境共生型の産業を守り育てる暮らし 3. 利便・快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らし 4. 生態系に配慮して区画整理を進め、誰もが安心して不便を感じることはない暮らし 5. 埋もれた文化・歴史を掘り起こしつつ新しい文化・歴史を刻む暮らし		
※現行計画の百草の里地域、七生丘陵地 域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方 の目標をまとめたものです。	⇒聖歌の晩年の地、八王子競馬場 ○住宅地の目標が弱い。例えば「安心して子育てができる環境づくり」 ○高齢者のぞむまちのイメージを加えたい ○中央の居住地の暮らしの目標が弱い ○八王子競馬場があったことを活用できないか		

第一回 地域別意見交換会

第四中学校地域



七生中学校地域【①班】

- 日鉦住宅団地では、隣の区画の開発にあわせて道路ができ、バスが通れば便利になる
- その一方で防犯面など気になるところはある
- 団地では、中央の公園と隣の地区センターが住民の集まる場所
- 南平駅に、駅前広場や安全に子供を送り迎えできる場所があるといい
- 駅周辺を改良すると、若い人も住みやすくなるのではないかと

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をしたけれど、場所がない			
■今後、必要となりそうな活動や場所	○保育所が少なく小さい。広く伸び伸びとした環境にしたい		○歩道がでこぼこなので改善したい
■その他のご意見	○大きくなった街路樹を間引きしてはどうか ○車のスピードを落とす工夫をする ○緑を植えたいが掃除が大変との意見もある ○北野街道からの道をもう一本整備すべきとの声と、防犯上反対の声あり ○新しい住宅を整備することで若い世代が増える ○南平駅周辺を改良しないと若い人が住まない ○ミニバスの本数が増えると良い ○電車の運賃が少し高いので安くなると移動しやすい ○全員が自治会に加入して安全・安心なまちに ○地域の方で交流できるイベントを大切にしたい ○多摩平下水処理場跡地の活用		
■暮らしの目標 『浅川と緑のふところに抱かれたまち』 ※現行計画の七生丘陵地域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方の目標をまとめたものです。	1. 身近に水辺や緑を感じることができ、遠くには富士山を眺めることができる暮らし		
	2. かつての日野の原風景が残されている中で、新鮮な農産物が食べられる暮らし		
	3. <u>さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし</u>		
	4. まちの 景観 や住環境を自ら守り育てることのできる暮らし → 安全性に関わる部分は手を入れていく（歩道など）		
	5. 地形による生活のデメリットを感じないですむ暮らし		
	6. 公共サービス に支えられ、安心して生活できる暮らし		
	7. 誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らし		



平山中学校地域【③班】

- 丘陵地帯に自然が残っている。そこまでの動線を整備すれば、駅からの人の流れができる
- 駅前の交流センターは地域住民の居場所となっている
- 川沿いの散策路が途切れている箇所があり、改善するとよい
- 「駅前の賑わいづくり」というよりも、ほっと一息つける場所ができるとうい
- 平山住宅は高齢化率が高い。若い世代が住むようになるには、駅からの道路を改善すべき
- 駅舎の建替えや、橋の架け替えも進むとよい

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない			
■今後、必要となりそ うな活動や場所		○駅前に喫茶店のような機能があると もつと良い	
■その他のご意見	○橋の架け替え、歩道の整備 ○駅舎のバリアフリー化・高架化。南北の行き来がしやすいように ○駅から丘陵部へアクセスできる道があると良い ○丘陵部に向かう歩きやすい道ができれば平山台に人が来るのでは ○平山台住宅は1住戸の敷地が広く、また高齢化が進んでいるため、若い人が入 ってくる工夫が必要 ○丘陵部には、高尾山に負けない大自然、絶景の展望台がある ○丘陵部に階段の整備やWCの設備を ○薬科大の学生も交流センターのカフェを利用している ○七生台地区センターは使いやすく便利だが利用者が少ない ○川沿いの歩道は狭く歩きにくいいため、整備が必要		
■暮らしの目標 『浅川と緑のふところに 抱かれたまち』 ※現行計画の百草の里地域、七生丘陵地 域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方 の目標をまとめたものです。	○ベッドタウンではないイメージにしたい ○「浅川と緑のふところに抱かれた」⇒緑の豊かな、自然を楽しめるまち ○「身近に水辺」⇒河原、河川敷の表現に ○「地形による生活のデメリット」⇒ポジティブな表現に。多様な地形を楽しめる、 のんびりした、自然のある生活など		



平山中学校地域【④班】

- 図書館や公園、水辺などが地域住民の居場所。川沿いの桜並木にも人が集まる
- 駅の北側に食堂があるが他になく、買い物ができるところがあるといい
- 用水があり大名淵など地域資源が豊富。もっとまち歩きなどで良い場所を開拓したい
- 駅前で週に何時間かだけ使いたいというような住民ニーズもある
- 多世代が集まる場所づくりだけでなく、その仕組み・ソフトづくりも必要
- 水辺・用水・緑を残したい。水田が減ると用水もなくなる。生き物が住める水辺にしたい

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない		○地区内に買い物先がない	○（同左） ○外から来た人の休憩所
■今後、必要となりそ うな活動や場所		○女性の起業支援（アロマ・子どもの預かり） ○住んでいる人の働く場、集う場、コミュニティスペース	○高齢者が一人でなく、みんなでご飯を食べる場所 ○市外から来た人の写真スポット
■その他のご意見	○女性の起業支援。公共施設の月2回利用では事業として成立しない ⇒駅前にスペースがほしい ○平山2丁目の空き家は地域での活用を検討している ○鮎陵源、アユなどの養殖→復元してまち歩きの拠点や休憩場所に ○景観や自然を残し市外の人にアピール。高幡不動～豊田を歩く ○平山城址公園駅はハイキングコースの起点 ⇒拠点としての玄関口に相應しい整備を進めてほしい ○大名淵の環境は変えないでほしい。木が切られ、景観やカワセミの生息が脅かされている ○日野市ガイドマップを復活させてほしい。		
■暮らしの目標 『浅川と緑のふところに抱かれたまち』 ※現行計画の百草の里地域、七生丘陵地域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方の目標をまとめたものです。	1	身近に水辺や緑を感じることができ、遠くには富士山を眺めることができる暮らし	
	2	農のある風景や農業の維持に積極的に関わり、地元でとれる新鮮な野菜を食べられる暮らし	
	3	さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし ⇒特に重要な目標。世代間交流を促せるリーダーや仕組みが必要	
	4	まちの景観や住環境を自ら守り育てることのできる暮らし	
	5	地形による生活のデメリットを感じないですむ暮らし	
	6	公共サービスに支えられ、安心して生活できる暮らし	
	7	誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らし	



三沢中学校地域【①班】

- 主な地域の拠点は、交流センターやせせらぎ農園。
- 農の風景を残すのではなく、暮らしと農との関わりを強める活動が必要
- ふれあい食堂に地域の野菜を提供するような、地域のつながりがどんどん広がると良い
- 提供する公共サービスの範囲をよく考えるべき。地域住民でできることはやる
- 宅地にならない、生産緑地の要件に満たない小さな農地をどうするかは地域の課題
- 農家と市民が分断している。農は地域の共有財産。価値観を変えないといけない
- 日野の「暮らし方」を自慢できるようなまちにしたい。発信したい。

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をしたけれど、場所がない		○カフェをやりたいが用地がない ○道路付けが悪く宅地化できない土地がある	○地区センターの水道のレバーが古く、高齢者が使いづらい
■今後、必要となりそうな活動や場所	○沢に入る感触など子供が自然と向き合えるように ○登下校の見守りを継続（スピードが出ない工夫、エルボーカーブ）	○空き家を借りてカフェができるかもしれない ○野菜を使ったカフェ	○せせらぎ農園等の近くにWCがない
	○学生を巻き込んで地域活動ができると良い ○農地や用水が暮らしの中にあるといい ○市民が農に触れられる場所をつくらないと重要性が皆分からない		
■その他のご意見	○農への市民全体の意識を上げていくこと。共同耕作を通して農業者を育成してきた。 ○マスタープランの中で農の計画を議論すべき ○「農あるまちづくり」を「農ができるまちづくり」へ ○農を生業としてできるまちへ ○農地を売ろうと思えば売ってしまうことも問題 ○農家のもつ売れない農地を生産緑地にできないか（300㎡以下の生産緑地指定） ○ミニバスを増やすには税金を使う必要がある。増やすばかりではだめ。 ○百草園駅には急行を停めるべきではない。利便より不便に価値がある発想を ○ゴミを出さない暮らし。自分達の生活の自慢ができるように。 ○棚田がある		
■暮らしの目標 『高幡不動と里山が息づくまち』 ※現行計画の百草の里地域、七生丘陵地域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方の目標をまとめたものです。	1.豊かな自然に抱かれ、地域の魅力の根源である豊かな自然環境がいつまでも身近にある暮らし		
	2.農地や農作業の風景を身近に感じて環境共生型の産業を守り育てる暮らし ⇒農地を農家と市民が一緒に耕していく		
	3.さまざまな世代が集まり賑わいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし ⇒駅周辺は地域の共有財産。商店街は消費者と見るのではなく地域の人として見るべき		
	4.公共施設や公共サービスが充実し、誰もが利用でき、活発な交流がなされる暮らし ⇒どこまでを公共サービスと考えるか。行政頼りではなく、自分達で何ができるかを考えること		
	5.誰もが自然環境を守る活動に関わり、美しく自然に恵まれた住環境を守り育てることのできる暮らし		
	6.車や人が気持ちよく安心して道路を利用できる暮らし		
	7.日野の良さを掘り起こし、住んでいる人だけでなく外の人と共に楽しめる暮らし ⇒暮らしそのものを自慢できるように		

第一回 地域別意見交換会

三沢中学校地域

子ども
子育て世代
高齢者

商店街と
地域の
関係が
大切

学生と先生
地域の関係
でいい

空き家とか
カフェ
でいい

マツダの
売れ残りを
活用

共同利用
農業者と
市民

農家の
土地を
活用

300m以下
の
生産地
指定

税金が
安い
→農家
が来る

市民が
農地
を
活用

農地で
売ると
売れない

百国田舎館
充実

地域
内
に
必要

農が
生活
で
必要

農地
活用
で
必要

カフェ
で
必要

農地
活用
で
必要

野菜
の
種類

生産
と
消費
の
関係

公園
の
活用

田舎
生活
の
魅力

生産
地
の
指定

農家
の
生活

建設
可能
な
場所

生産
地
の
指定

農家
の
生活

建設
可能
な
場所

生産
地
の
指定

農家
の
生活

建設
可能
な
場所

生産
地
の
指定

農家
の
生活

建設
可能
な
場所

生産
地
の
指定

農家
の
生活

建設
可能
な
場所

生産
地
の
指定

農家
の
生活

- 凡例
- 駅
 - ▲ 市役所・支所
 - ▲ 地区センター
 - ▲ 交流センター
 - 中学校
 - 小学校
 - 幼稚園
 - 保育所・認可外保育施設
 - 児童館
 - 福祉センター
 - 通所介護施設
 - 病院
 - 診療所
 - 歯科
 - SC・スーパー
 - コンビニ

- 緑に塗られる場所
- 公園、運動場等
 - 森林
 - 田
 - 畑
 - 樹園地

0 125 250 500 750 1,000メートル



遺跡の
活用
で
必要

三沢中学校地域【②班】

- 用水路や農園、果樹園など地域資源は豊富にある。
- 回遊路で地域資源をつなげて、人々が交流できる場所をつくれないか
- どこにどう地域資源があり、つながっているのか分からないので改善したい
- 空き家を活用した地域活動が増えている。一方で農地が宅地化される動きもある。
- マスタープランの中で、農地を残すビジョンを掲げるべき
- 地域の目標の中に、高幡不動・里山に加えて「水路」が息づくまちを加えたい

	子どもの居場所	子育て世代の居場所	高齢者の居場所
■こういう活動をした いけれど、場所がない ※なくなる心配がある	○いも堀りするための農地がなくなっている ○野菜、土のことを知らない子が増えている	○農地を借りたい人は多いが、借りられず山梨に ○市民農園は2年単位。土づくりがせつかくてきても続けられない ○農を通した多世代の交流が広がるとよい(例: 落川交通センター)	○用水路の整備が今は点。つなげてほしい ○散歩コースにWCを。ワンドの周辺など ○ピオトープ(ワンド)の近くまで寄れない ○公園に健康遊具を増やしてほしい
■今後、必要となりそうな活動や場所	○子供の情操教育のため、気軽に農に触れる機会を残す	○コミュニティーガーデンをみんなで維持 →子どもに教えられる	
■その他のご意見	○都心の人に来て楽しむ農地(国立市でやってる) ○歩道を整備してほしい ○川沿いと倉沢緑地をつなげる回遊ルート of 整備。今の上がっていく道はわかりづらい ○里山ミュージアム構想→サイン表示を早く		
■暮らしの目標 『高幡不動と里山・水路が息づくまち』	○用水路をつなげる ○小平市のように水路沿いを歩き回れるように ○世代を超えて、興味を持って集まれる場所が増えると良い ○倉沢への行き方、入り方が分からない⇒標識があると良い ○空き家と耕作放棄地が増えている ○空き家もあるのに宅地開発が必要か ○空き家が増えている中で、農地法の絡みで簡単に貸せない ○生産緑地を市が買い取れるようにしてほしい ○後継ぎがいない農家の支援 ○農業をやりたい人はいる ○使われていない田んぼを活用 ○農家が一生懸命でないことが不安 ⇒農家にメリットのある保全の仕組み。優先度をつくって残す。意識的に残す。市が買い取って残す。農地ビジョンを掲げる		
※現行計画の百草の里地域、七生丘陵地域、万願寺・川辺堀之内地域の暮らし方の目標をまとめたものです。	1.豊かな自然に抱かれ、地域の魅力の根源である豊かな自然環境がいつでも身近にある暮らし		
	2.農地や農作業の風景を身近に感じて環境共生型の産業を守り育てる暮らし		
	3.さまざまな世代が集まり賑わいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし		
	4.公共施設や公共サービスが充実し、誰もが利用でき、活発な交流がなされる暮らし		
	5.誰もが自然環境を守る活動に関わり、美しく自然に恵まれた住環境を守り育てることのできる暮らし		
	6.車や人が気持ちよく安心して道路を利用できる暮らし ⇒移動のしやすさ、快適さ(アメニティ)		
	7.田野の良さを掘り起こし、住んでいる人だけでなく外の人と共に楽しめる暮らし		

第一回 地域別意見交換会

三沢中学校地域

- 子ども
- 子育て世代
- 高齢者

